

令和6年度第1回 旭川市雪対策審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年5月29日(水) 18:00～18:50
- 2 開催場所 旭川市総合庁舎7階多目的室(旭川市7条通9丁目)
- 3 出席者 **【委員】** 12名  
飯野委員, 石塚委員, 大野委員, 帯川委員, 葛西委員, 岸浪委員, 木下委員,  
田中(紀)委員, 土川委員, 堤委員, 中込委員, 中田委員  
**【事務局】** 7名  
高橋雪対策担当部長, 時田土木部次長(雪対策課長), 石持土木事業所長  
(雪対策課) 高垣補佐, 関守補佐, 伊藤補佐, 近江主任
- 4 欠席者 **【委員】** 3名  
齊藤委員, 田中(弘)委員, 松林委員
- 5 傍聴者等 傍聴者2名, 報道記者2名
- 6 議題 (1) 令和5年度旭川市雪対策基本計画アクションプログラムの取組の  
実施状況報告について
- 7 資料 次第  
資料1 旭川市雪対策基本計画アクションプログラム実施状況報告  
資料1-2 令和5年度の雪対策の取組(報告)
- 8 会議録(要点) 別紙のとおり

## 会議録（要点）

## 1 事務局から報告

本日の出席委員数が過半数を超えており本審議会が成立していること、会議は公開かつ傍聴できることとしており、傍聴者の定員を5名とすること、本日の傍聴者数が2名であること及び前回審議会の会議録配布について事務局から報告。

また、人事異動により新たに就任した、委員1名から自己紹介及び、雪対策担当部長から挨拶を行った。

## 2 開会

ただいまより、令和6年度第1回旭川市雪対策審議会を開催します。

## 3 議題（1）

会長の進行のもと、資料1及び資料1－2に基づき、雪対策基本計画アクションプログラムの実施状況報告及び令和5年度の雪対策の取組について事務局から説明があった。議事進行は次のとおり。

## 【会長】

雪対策基本計画アクションプログラムの実施状況報告と令和5年度の雪対策の取組について、質問や意見等を6月7日までに郵送、ファクス、電子メールで事務局まで提出願いますとのことでした。

例えば私は、「実施状況報告書の1ページ、【実績値の除雪グレーダや除雪トラックの貸与台数】の数字の下に括弧書きで併記されている数字は何か」ですとか、「【オペレータの年齢40歳未満の割合】は、令和6年度の目標値26％と開きがあるが、どのような現状なのか。基準値17％はどのような根拠か」、「12ページの雪処理施設で、令和3年度に受入可能量が急に920万立方メートルに増えた理由は、土地を確保したからなのか」などの質問が浮かびます。今日の段階で意見調書に記載する前に、質問等がありましたら発言願います。

## 【委員】

資料1－2の最後に、改善要望件数全体に占める2月から3月の割合が減少していると書いてありますが、排雪強化の取組の前後で要望件数全体に増減はあったのでしょうか、それとも大体同じぐらいの件数なのでしょうか。

## 【事務局】

改善要望の件数は、雪の降り方によって道路状況が変化するので、年によりまちまちです。令和4年度は4,964件でしたが、昨年度は10,143件で、12月中にたくさんの改善要望が寄せられました。

## 【委員】

シームレスな排雪効果というのはどのような意味でしょうか。

## 【事務局】

以前は1回目の生活道路の排雪作業を行った後、少し間を置いて道路状況を見ながら必要などころだけ排雪していました。令和3年度以降は、生活道路については1回目の排雪作業が終わった後すぐに市内のどこかで2回目の排雪作業を進めることにしており、それをシームレスと表現しています。

## 【会長】

委員から話があったように、説明を括弧書きで入れて、市民が見ても分かりやすくすると良いと思います。ICTやDXという記載も、分からない人がいると思います。そうした市民の目線で質問を出してもらいたいですし、それぞれの立場で専門の委員の皆様が参加されていますのでチェックをお願いしたいと思います。

【事務局】

そうした質問に加え、内容に関する提案、このように感じるといった感想や意見でも構いませんので、意見調書に記載し提出をお願いします。

【委員】

報告書の5ページ中段にあるL o g o フォームというのは、市役所内での何か連絡手段ではないかと推測しますが、どのようなものでしょうか。

【事務局】

アンケートや様式などのフォームを自ら作成して、職員の間で共有したり、市民向けにインターネット上で公開したりして意見を出してもらい、そのフォームをもとにデータを集計し分析もできる、そういったことができるシステム、サービスです。

【会長】

同じように、情報共有ツールのように括弧書きで記載すると良いと思います。

【委員】

アクションプログラムの実施状況報告は、私たちが提出した意見等をまとめ、7月の審議会で説明した後で確定となるのでしょうか。

【事務局】

アクションプログラムの実施状況報告については、昨年度の各担当課の取組状況を取りまとめたもので、今回の報告を持って確定となります。報告書に対する御質問や御意見は、各担当課に確認を行い、回答を取りまとめ、次回の審議会で報告させていただく流れとなります。

【会長】

ほかに御質問等がなければ、6月7日までに事務局に提出をお願いします。

#### 4 その他

会長の進行のもと、除排雪に関する市民アンケートを6月5日から7月10日までの期間で実施することについて事務局から説明があった。進行は次のとおり。

【会長】

事務局より除排雪に関する市民アンケートについて説明がありました。御意見御質問はありますか。

【委員】

このアンケートは、今回初めての試みなんではないでしょうか。

【事務局】

令和4年度から実施しており、今年で3回目になります。以前は基本計画を改定するときなど、5年、10年の間隔でアンケート調査を実施していました。除排雪作業に対する満足度を把握していきたいので、内容は大幅に変えずに統計的に比較できるように実施します。

【委員】

アンケートの回答率や件数はどの程度あるのでしょうか。

【事務局】

全体の件数では2千百件程度あります。除雪連絡協議会会員（市民委員会役員や町内会長）の方以外の市民の方は主に二次元コードから回答いただく形式としていますので、回答率は算出しておりません。

【委員】

チラシを見ると除排雪の満足度の調査と書いてあります。チラシの二次元コードをスキャンするとまだ準備中ですが、アンケートはどのような項目、構成なのでしょう。

【事務局】

旭川市の除雪路線は幹線、生活幹線、生活道路と分かれています。それぞれの道路の走りやすさ、総合的な雪対策についての満足度、何に重点をおいて除排雪を行うべきかなどの内容を設けています。

【委員】

アンケートの中には、自由回答のように、苦情や要望を書き込むところもあるのでしょうか。

【事務局】

自由意見を記載できる欄があります。自分の意見がどのような項目に当てはまるのかを選んでもらい、項目ごとに収集し取りまとめることができるようにしています。

【委員】

アンケートで出される意見も市民の声ですので、審議会でもアンケート結果で何が一番ニーズがあるのかなどを共有してアクションプログラムの進捗を確認できればいいと思います。過去のアンケート結果などもあれば、情報提供してほしいと思います。

【委員】

今回の議題とは関係なく、市民として素朴な疑問ですが、昨シーズンは排雪ダンプをたくさん確保したり、丁寧な路面管理を行ったり、いろいろ費用がかかったのではないかと推測しますが、雪対策の予算は足りたのでしょうか。

【事務局】

昨年度は、道路除雪に関する当初予算は35.2億円で、例年の降雪量、排雪量であれば充足する予算は確保しました。しかし、12月に極端な大雪が降って排雪量が一気に増え、2月一杯までスムーズに排雪作業ができなくなる可能性もありましたので、補正予算を計上しました。結果的には2月中旬に気温が4月並みに上がり急激に融雪が進んだため、結果的に当初予算並みの支出額になりました。除排雪、雪対策に必要な取組についての予算は確保したので、そういう点では足りているということになります。

【会長】

雪対策は市民にとって興味や関心が高い内容だと思いますので、審議内容だけでなく、市民として確認したい点があれば発言してもらいたいと思います。

事務局より次回開催に係る連絡事項として、7月下旬頃の開催を予定していること、内容は雪対策基本計画アクションプログラムの実施状況報告への意見に対する回答、除排雪に関する市民アンケートの速報値の報告、令和6年度の雪対策の取組の方向性の審議などを予定していること、調査票により日程調整し、開催日を決定することの報告があった。

## 5 閉会

【会長】

以上で令和6年度第1回雪対策審議会を閉会します。